

あいちの印刷

4

2023.4
No.617



名古屋市農業センターのしだれ梅（天白区平針）

もくじ

■ 巻頭言「心新たに、前へ」	3
■ 愛知・岐阜・三重・石川・富山各県工組、愛印協主催 第14回「ポスターグランプリ」作品募集	4
■ 中部地区印刷協議会下期会議＜滝澤会長の講演より＞ DXによる価値創出について	6
■ お知らせ 日印産連「VOC警報器」販売終了	8
■ 「印刷物ご発注に関するお願い」	9
■ 愛印工組・2月期理事会 「多くの情報を発信しているのでぜひ活用を」	10
■ 厚生労働省 化学物質による労働災害防止の新たな規制	11
■ 企業見学会 老舗家具メーカー飛騨産業を見学して	12
■ 経済センサス活動調査 愛知県内の印刷業	13
■ お知らせ「鉛・有機溶剤・特定化学物質取扱者 健康診断(特殊検診)」案内	13
■ 今月の本棚	14
■ TOPICS NEWS	14
■ 編集だより	14

人に 社会に 想いを カタチに

///O 愛知県印刷工業組合

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために富士フィルムは提案します——成長は、「省資源」から。材料・工数・水・エネルギー・排出、これまでの「コスト」を減らし利益に還元。製版・印刷工程を軸にした、独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」があなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

FFGSは、戦略的『省資源』で、トータルコストダウンを支援いたします。

「減らす」がつくる、クオリティ **FUJIFILM SUPERIA**

富士フィルムグラフィックソリューションズ株式会社

RMGT970が
あなたのSDGsを
アシスト
Assist



人に優しい 地球に優しい 経営に優しい



RMGT 970 モデルは、オペレーターフレンドリーなユーザーインターフェースや作業負担を軽減する自動化 / 省力化機能をはじめ、損紙の削減や電力消費量低減によって省資源 / 省エネルギーに配慮した、人に地球に優しい印刷機です。さらに菊全判ジャストサイズによるコストメリットはもちろん、生産性や印刷物の付加価値を高める各種オプション機能も充実した、経営にも優しい印刷機です。

RMGT 970 モデルは、SDGs に取り組み、サステナブルな成長を目指すあなたの会社を強力にアシストします。

RMGT リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

SCシリーズ断裁機 登場。

効率と安全性能が更に進化。ナイフとバックゲージの速度が向上し、クランプ上昇安全機能を搭載。AIとの連携(オプション)も可能です。※eRCシリーズ断裁機との比較。写真はオプション仕様。

SC 100Z 115Z 137Z
SERIES SCシリーズ断裁機

Safety Speedy Smart



CIP4に対応 (オプション)



最大断裁幅 1030mm
SC-100Z



最大断裁幅 1370mm
SC-137Z



最大断裁幅 1168mm
SC-115Z

ITOTEC
イトテック株式会社

製品や機能の詳細など、お気軽にお問い合わせください。

<https://www.itotec.co.jp>
e-mail info@itotec.co.jp



本社 〒484-0912 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495
[支店、営業所、サービスセンター] 東京・大阪・四国・福岡・札幌・新潟・仙台

巻頭言

「心新たに、前へ」

副理事長 木村 吉伸

メディアージュ愛知近くの白壁の桜は、名古屋で一番早く3月中旬頃咲く桜として有名ですが、みなさんご覧になられましたでしょうか。年度末の繁忙期も終わり、気分一新する4月になりました。新入社員さんが入社された会社様もあると思います。担当させていただいています労務・新人教育委員会では、毎年4月初めより約2か月間にわたり『新入社員研修』を開催しております。初日、理事長のご挨拶から始まりますが、皆さん少し緊張気味な面持ちで元気よく挨拶します。小・中学校の入学式など新しいステージに立つと、何があるのだろうというわくわく感や期待に満ち溢れる一方、自分に出来るだろうかという不安などが入り混じっていた自分を思い出しますが、元気な新入社員さん達を見ていると心新たに前へ進もうという気持ちに切り替わります。講習につきましては、最近の印刷業界の動向に合わせてデジタル印刷をはじめ他の特殊印刷やWEB、SNS、動画に関するセッションも開催しています。これも組合員の皆様が場所の提供や講師としてご協力いただいているお陰です。ありがとうございます。今後は愛知だけでなく近県の工組の方々

にも、よりWinWinの関係が築けるようにご協力をお願いして更に前へいきたいと思えます。

また、今年は新しく『職長教育研修』を8月に開催する予定です。職長とは、仕事を行う上で現場において指揮、命令する人で、通常は、班長、リーダー、工場長などと呼ばれています。この4月1日から労働安全衛生法施行令の改正によって、職長等に対する安全衛生教育が必要となる業種に、これまで対象外であった「製本業及び印刷物加工業」が新たに加わりましたので、対象となる組合員企業様も多くいらっしゃると思います。研修の内容は、労働安全衛生法の対象事項において作業手順や異常時災害時における措置をはじめ設備・作業場所の保守管理などが決められていて、講習時間は12時間、2日間になります。まずは代表者様または工場長様等に当たる方が受講されるとよいと思います。

最後に鳥原理事長はいつも、組合をもっともっと利用してもっともっと自社に活かしてほしいと言われています。皆様により活かしていただけよう心新たに努めて参りますので、今後共ご支援のほどよろしくお願いいたします。

変化する市場ニーズを多彩な技術でナビゲートする



オフセット印刷用インキのニュースタンダードラインナップ

■ 枚葉インキ

広がるパウダーレスインキの可能性

Fusion G NEO

New Champion
F-Gloss MK

■ UVインキ

進化する高感度 UV インキシリーズ

Dai CURE HR

Dai CURE F-Gloss HR

■ オフ輪インキ

低温乾燥型インキでエネルギーコストの削減を実現

Web World
SYNERGY ECORE

DIC グラフィックス株式会社

〒103-8233 東京都中央区日本橋三丁目7番20号 ディーアイシービル
<https://www.dic-graphics.co.jp/>

POSTER GRAND PRIX COMPETITION

第14回ポスター・グランプリ作品募集
作品テーマ

「おばけ」

1. 募集期間
2014年10月1日（水）～2015年9月30日（水）

2. 募集対象
日本国内在住の個人（法人・団体は不可）

3. 募集地域
日本国内（海外在住の方は不可）

4. 募集ジャンル
ポスターデザイン全般（イラスト、写真、グラフィック、文字など）

5. 応募資格
年齢制限なし

6. 応募方法
応募作品はA3サイズ（縦横）の印刷物として提出してください。

7. 応募料
応募料はかかりません。

8. 審査
審査員は、ポスターデザインに精通する専門家による審査を行います。

9. 賞状
入賞作品には賞状が送られます。

10. 権利
入賞作品の著作権は応募者にあります。主催者は入賞作品を主催者のウェブサイトやパンフレットなどに掲載する権利を有します。

11. その他
詳細は募集要項をご覧ください。



第17回 メディア・ユニバーサルデザイン
コンペティション 2014
MEDIA UNIVERSAL DESIGN COMPETITION

このコンペティションは、ユニバーサルデザインを推進し、誰もが使いやすいデザインを創出することを目的としています。応募作品は、視覚障害者、聴覚障害者、身体障害者、高齢者など、様々な障害を持つ人々が使いやすいデザインであることを評価の対象とします。

第14回「ポスターグランプリ」作品募集

作品募集／テーマは「おぼけ」

愛知県・岐阜県・三重県・石川県・富山県の印刷工業組合及び愛知県印刷協同組合では、第14回ポスターグランプリコンペティションを実施する。実施要項は下記のとおり。

【作品規定】

■対象＝ポスター

■テーマ＝「おぼけ」

幅広いジャンル、豊かな発想と斬新な表現のポスター（ビジュアル・キャッチコピーを含む作品）を募集。

■応募期間＝2023年8月21日（月）～9月2日（土）12時必着。

■応募資格＝愛知県、岐阜県、三重県、石川県、富山県在住、または同5県内の会社、大学（大学院、短期大学を含む）、専門学校、高等学校（高等専門学校を含む）に在籍している個人。

■応募部門＝一般の部（プロ・アマ不問）、大学生・専門学校生の部、高校生の部。

■応募作品＝未発表の作品、1人1点、印刷可能なものに限る。電磁媒体（CG）又は手描きによるもの、色彩表現は自由。

■サイズ＝〈一般の部〉B1判、縦型、発泡パネル貼仕立て。〈大学生・専門学校生の部〉B1判、縦型、発泡パネル貼仕立て。〈高校生の部〉B2判、縦型、発泡パネル貼仕立て

※発泡パネルの厚さは15mm以内。

※作品が剥がれないように、しっかり貼り付けて提出。

■出品料＝無料

■応募方法＝①～③の手順に従って提出

①WEBサイトにアクセス

https://ai-in-ko.or.jp/poster-gp_14/

②必要事項を入力して「送信」

③登録したメールアドレスに確認メールが届くので、それをA4サイズで出力して、指定の部分を切り取り、応募作品裏面の上部中央に貼付けて提出。

【授与賞と副賞】

■グランプリ・中部経済産業局長賞／1名（賞金10万円）

■優秀賞〔一般の部〕愛知県知事賞、岐阜県知事賞2名（賞金2万円）、〔大学生・専門学校生の部〕三重県知事賞、石川県知事賞2名（賞金2万円）、〔高校生の部〕富山県知事賞、中日新聞社賞2名（賞金2万円）

■特別賞／名古屋市長賞、愛知県教育委員会賞、岐阜県教育委員会賞、三重県教育委員会賞、名古屋市教育委員会賞、中部デザイン団体協議会会長賞、（一社）中部広告制作協会賞、全日本印刷工業組合連合会会長賞、愛知県印刷工業組合理事長賞、岐阜県印刷工業組合理事長賞、三重県印刷工業組合理事長賞、石川県印刷工業組合理事長賞、富山県印刷工業組合理事長賞／各1名（ギフトカード5千円分）

■協賛会社賞／若干名（ギフトカード5千円分）

※副賞に加えて入賞者全員に「入賞・入選作品集」を贈呈。

※各賞の他、入選作品（若干名）を選出し「入賞・入選作品集」を贈呈（「入賞・入選作品集」は2024年1月下旬発行予定）。

【審査】

■主な審査基準

①テーマを的確に表現していること。②ポスター機能としてのメッセージ性に優れていること（キャッチコピーも審査対象）。③斬新な発想とアイデアにより独自の新規性を有すること。④ポスターデザインの観点から、見やすさにおいて優れていること。以上を中心に、総合的に勘案し審査する。

【審査員】（敬称略）

■審査委員長／鳥原久資（愛知県印刷工業組合）

■審査委員／新家春二（新家デザイン室）、安藤誠一郎（中部デザイン団体協議会）、広瀬達也（中部広告制作協会）、柳智賢（RYU DESIGN）、大洞正和（岐阜県印刷工業組合）、水谷勝也（三重県印刷工業組合）、小杉善文（石川県印刷工業組合）、須垣貴雄（富山県印刷工業組合）、酒井良輔（愛知県印刷工業組合）、木村吉伸（同）、田中賢二（同）、荒川壮一（同）、箕浦靖夫（同）

■審査日／2023年9月中旬

■入賞・入選発表／2023年9月末日

※入賞・入選者本人（希望により勤務先・在籍学校）に通知するとともに、愛知・岐阜・三重・石川・富山の各県印刷工業組合ホームページ及び組合広報誌に掲載。

※入賞・入選作品は「入賞・入選作品展」で展示する。

【入賞・入選作品展】

●日程＝2023年10月31日（火）～11月5日（日）10時～18時（金曜日は20時、最終日は16時まで）

●会場＝愛知県美術館8階ギャラリー 展示室E・F

【入賞者表彰式】

●日時＝2023年11月3日（金・祝）10時30分～11時30分

●会場＝愛知芸術文化センター 12階 アートスペースA

【その他】

■応募作品に関する著作権は応募者に属するが、ポスターグランプリに関する広報・記録に使用する権利は主催者に帰属する。※応募作品は返却しない。

【応募・問合せ先】

愛知県印刷工業組合内ポスターグランプリ係

〒461-0001 名古屋市東区泉1-20-12メディアージュ 愛知 TEL 052-962-5771 FAX 052-951-0569

※詳細は、愛知県印刷工業組合のホームページ参照。

<https://www.ai-in-ko.or.jp/>

DXによる価値創出について

DXの重要性／DXのコンセプト／DXの活用と新たな価値創出モデル



講師：滝澤光正
全日本印刷工業組合連合会会長

中部地区印刷協議会下期会議が2月17日、名古屋東区のホテルメルパルク名古屋において開催された（本誌3月号に既報）。その席上、滝澤光正全日本印刷工業組合連合会会長が、「DXによる価値創出について」と題し、全印工連が進めているDX推進事業について講演した。本稿はその折の講演内容を纏めたものである。なお、誌面の都合で割愛してお届けしている。

■「DX-PLAT」による新たな展開について、少し時間をいただきお話をしたい。今からお話しするDX-PLATによる新たな展開は、産業戦略デザイン室で議論してきたものを昨年11月に提言として取り纏め、全国の各組合の皆さんには、昨年未までにPDFで配布をしている。今日はその時の提言とその後新たにデザイン室で議論された内容も含め、アップデートしたものをお話したい。

■具体的にDXを推進するステップでは、まずMIS、基幹業務システムとかロボティクス、RPAなどを導入して業務の生産性を改善していく。生産サイドの工場側（ファクトリーサイド）では、既存事業の変革、つまり生産現場において、JDFのシステム、あるいは全印工連が進めているDX-PLATを活用して、社内の業務プロセスの改善を行なう。サービスプロバイダーサイド、つまり発注者側、顧客接点側では、製品あるいはお客様から注文を受ける新たな受注ECサイト作りなどを進める。これらがシステムと連携し繋がっていくと、販売や生産がデジタルベースで行なわれるようになる。業務効率が改善されて生産性が上がる。その力でさらに新しい事

業を構築し、製品やサービスの開発、特化した設備投資を行なっていただく。これをスパイラルで回していくことで会社が変わっていく。そのことを目指すことで、必然的に会社の文化や経営そのものが変わっていくと思われる。つまり、それが目指すDXの成功ではないのかと考える。

■全印工連では、組合の皆さんがDXを達成するために、DX-PLATという仕事のやり取りができるシステムを構築した。このDX-PLATはグループで運用するから、まずはそのやり取りを行なうグルーピングを行なっていただく必要がある。そのグルーピングは、日頃仕事のやり取りをしている近隣の仲間同士でも結構であるし、あるいは地域をまたいだ全国展開のグループでも可能である。発注者側にあるサービスプロバイダーと実際に機械設備を動かして生産を行なうファクトリーとを繋いで、稼働率を向上し生産性を上げることである。

■サービスプロバイダー側から基幹業務システムMISを通じてクラウド上の受発注システムにジョブの情報が渡される。すると、そのグループの中の工場から実際の最適なスケジュールや、あらかじめ入力してあるそれぞれの機械の製造原価が受発注システムに戻され、そのジョブのマッチングが自動で行なわれる。サービスプロバイダーからの注文をジョブシェアリングプラットフォーム（JSP）にあげると、そのJSPに最適なスケジュールと価格見積もりが返ってくる。それに対して発注者側が正式な発注を行なう。そして、そのスケジュールがファクトリー側に渡され、実際のPDFデータをこのDXシステムの中で発注者側にアップロードし、それを工場側がダウンロードして実際の機械にかけるというシステムである。

■以前から申し上げているが、まずは供給過剰にある私たち印刷産業の現状を少しでも改善し、過度な設備投資を避け産業全体としての作業効率を上げる。生産性向上を目的に開発しており、サービスプロバイダーとファクトリーを繋いで、ファクトリー側の稼働率を向上し、自社の強い分野への集中投資と、それ以外の分野は他社に任せることによって投資効率を上げることが可能になる。つまり、お互い得意なものに投資を集中することである。同じグループの中にオフセット印刷を持ったファクトリーがあるし、あるいは別のファクトリーはPODを積極的に行なう、また、商材ごとに設備を絞っても良い。自分達はこういう戦略を持ちDX-PLATを使い共に強くなっていく。そうしたグループを作って仕事のやり取りをする。サービスプロバイダー側も機械を持ってい

全印工連によるDX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業「DX-PLAT」

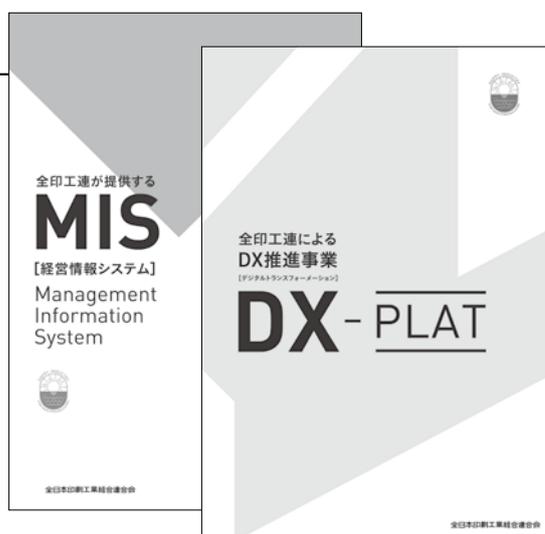
でも構わない。お互いの得意分野で自分のところに設備がない仕事は、そのグループの他の仲間をお願いをする。そうすることで、グループ全体として生産性が上がり、それによって生まれる利益は、ファクトリー側だけでなく、発注者側にも製造価格やサービスで還元することが可能となり、メリットが生じると考えている。

■全印工連としてのDXへの取り組みのコンセプトであるが、ソリューションプロバイダー、サービスプロバイダー側には適正なコストダウンとサービスの進化と拡張を目指していただく。製造側では稼働率が向上し新たな設備の更新に繋がっていただくことができる。発注者側は生産を仲間に任せることによって、より個性的で独自性の強い顧客設定を立ち上げることに注力することが可能となり、新しいお客様を開拓することを目指していただきたい。例えば、営業主体のサービスプロバイダーと製造を受けもつ各ファクトリーを繋ぐことで、互いに相乗効果が生まれるようになる。グループメンバーの追加によってはさらに、新たなビジネスモデルを生み出すことが可能で、これらを見据えてお客様にとって魅力のある新たな顧客接点を作ることが成功の鍵といえる。

■経済産業省の調査でも、印刷産業は全体として供給過剰で価格競争が続いている。そのことによって各社の収益が上がらない現状にある、と報告している。マーケット全体が残念ながら縮小している状況において、各社が高性能な設備投資を続けていけば当然である。今まで業界団体としてはなかなかできなかったことであるが、マーケット全体としての生産設備の適正化に着手しないと、印刷産業の力がどんどん削がれてしまう。皆さんの得意分野でお互いに助け合い生産も協調しようという意味でこのシステムを構築したので、是非利用して欲しいという説明を繰り返してきた。

■生産協調、生産調整だけでは確かに効率化に繋がるかもしれないが、それで全体の出荷額が上がるかといわれるとそうではない。縮小均衡に陥ってしまう。効率化をしたがそれだけでは、との思いの方が沢山いらっしゃるのによくわかる。このDX-PLATを使って新たな仕事、新たな売上げ、新たな収益を上げる、そのための武器にさせていただかないと、生産協調だけは目的を果たせない。

■新たな顧客接点づくりが必要と申し上げた。お客様にとって魅力があるストアフロントとはどのようなものなのか考えてみたい。例えば、シーンに合わせたストアフロント、特殊な製品に絞ったストアフロント、ソリューション製品を提供するストアフロント、ブランドオーナー向けのストアフロント、コスト競争力のある専門のストアフロント、



「日本の印刷」11月号の付録として組合員に配布された「全印工連によるDX推進事業DX-PLAT」を解説したリーフレット。また、「全印工連が提供する経営情報システムMIS」に関するリーフレット。

ファクトリー協業を活用したストアフロントなどいろいろある。

■少し掘り下げて紹介してみる。シーンや特殊製品、ソリューションに合わせたストアフロントでは、あらゆる製品を並べるのではなく、製品を絞って販売することが考えられる。そのストアフロントをサービスプロバイダー側が用意する。ストアフロントのシステムで構築をいただいて、これをDX-PLATのジョブシェアリングプラットフォームに直接繋ぎ、APIプログラム同士が情報のやり取りをできるようにする。このストアフロントとDX-PLATのジョブシェアリングプラットフォームを繋ぐAPIの開発を現在行なっている。これができるとお客様がネット上のECサイトから注文があった、その仕事そのままDX-PLATのプラットフォームに流れてくるような仕組みである。

■生活やビジネスのシーンに必要なショップでは、結婚式・ウェディング関係の印刷物とか、イベントやスポーツ関係の印刷物、あるいは地域の観光に役立つものに特化したWeb Shopなど、いろいろなアイテムがあると思う。また、特殊な印刷会社の構築となると超薄紙専門のサイトとか厚紙専門、特殊加工、製本、表面加工などが考えられる。また、ソリューション製品を提供するストアフロントでは、最近大変引き合いがあるのが、SDGsに特化した印刷物、CO₂削減に寄与する印刷物、あるいは医療や教育に役立つ製品など、こうしたものに商材を絞った顧客接点を構築するというのが考えられる。

■ブランドオーナー向けのストアフロントでは、複数店舗のクライアントのお客様に対して、そのお客様専用のストアフロントを作って、そこから必要な販促ツールや業務に使用する印刷物を受注する。これまで複数店舗のブランドオーナーは、本部一括でいろいろな印刷物、アイテムを発注され

全印工連が提唱するMIS [経営情報システム] (Management Information System)

お知らせ

日印産連

「VOC 警報器」販売終了

日本印刷産業連合会では、オフセット印刷工場における有機溶剤による健康障害防止を目的として、簡便さと低価格を前提に新コスモス電機㈱との共同開発をした「VOC警報器XH-981G」について、本年1月をもって販売を終了した。

VOC警報器の販売終了については、2021年4月に10団体へ報告、その後は在庫分の販売を行なっていたが、在庫がなくなり販売を終了することとなった。今後については、本年4月以降に改正される労働安全衛生法において新しい化学物質管理規制が導入され、従来の作業場の環境管理から作業者個人のばく露量管理へと見直されるため、これらの動向（法令に則した「ばく露濃度の管理方法」）が本年6月以降（見込み）、また、「ばく露濃度基準値」が来年4月までに当局から示される予定を踏まえ、適切な管理手法を検討した上で案内をすすめている。

ることが多く考えられたが、これからは各店舗やそれぞれの地域の実情に合わせた印刷物を用意することも可能となる。以前は本部で一括発注し、倉庫にある程度ストックしておき、そこから各店舗への配送を行なうことが多く見受けられた。昨今は倉庫や物流費の高騰によって、大量の印刷物をストックしておくよりも、むしろオンデマンドで各店舗に必要なものを必要なタイミングで発注することが案外できる、と議論をしているところである。

■今まで我々印刷会社は、それぞれのブランドオーナーに対面営業していろいろな仕事をいただいた。もちろん、対面営業を完全に否定するわけではないが、繰り返しの発注や店舗ごとの発注に対しては、ある程度お客様向けの自動で注文を受けられるようなサイトを用意する。対面の営業では、Web受注ではできない提案であったり、困りごとをヒアリングするといった時間に労力を割くことで、お客様専用のストアフロントを印刷会社が持つことができれば、当然お客様の囲い込みにも繋がる。

■ブランドオーナー向けのストアフロントでは、そのブランドに沿った印刷物やノベルティ管理と制作、全国各地の事情に合わせた制作、あるいは管理倉庫や配送コストの削減、CO₂削減、SDGsへの貢献をする側面がある。今まで大手のブランドオーナーは、私たち中小印刷会社にはなかなか仕事の発注はしていただけないという傾向があった。我々がこういったお客様にとって魅力ある発注の仕組み、受注の仕組みを用意することによって、ブランドを大事にする企業には、受注の機会があると思っている。

■コスト競争力がある専門店のストアフロントとか、ファクトリー協業を活用したストアフロントについて考えてみたいと思う。コスト競争力がある専門店のストアフロントでは、例えば、専門書や書籍、コミックというエキスパートでグループを作るとか、パッケージ専門のグループ、あるいは別注封筒、特注封筒のグループなども考えられる。これまで協業している仲間の会社と一緒に、このDX-PLATのグループを作って活用することで、同じカテゴリーの製品でも幅が広がって、同時に価格競争力をつけることが可能になる。

■岐阜においてもDX-PLATのトライアルを行なっているが、そのトライアルチームは圧着ハガキDMに特化したグループングをしている。DMを手掛ける全国数社の仲間グループ化をして、まさにDMの総合サイトを一緒に立ちあげるということを行なっている。参加したグループメンバーは、お互いに交流して製品の品質の統一、サービスの統一、そして、ゆくゆくは圧着の糊など資材の共同購入にも繋げていきたいということを目標に活動をしていただいている。

■ファクトリー協業を活用したストアフロントでは、ファクトリー内で本文、表紙、カバー、表面加工、製本など役割を決めておいて受注と同時に割り振る。もちろんこの中部地区においても様々な企業規模の組合員がいて、全ての仕事が一

社で完結できる大規模に設備を持つ会社と、あるいは全部の設備を揃えているわけではなくて、仕事 came ときはお互い協業しているという方がいると思う。書籍物などのパーツが必要な印刷製品には、このグループでDX-PLATを活用する、同じような仕事がきた時には、自動でパーツごとにそれぞれ得意な印刷会社に仕事を割り振れる。このパーツを分けるアプリケーションを作成し、自動化することが可能になる。今まで印刷の外注をするときの手間、手配に時間がかかる場合が多々あったが、これをグループ化することで、受注と同時に自動的に各社に振り分け、あらかじめ設定しておいたものをベースに、金額、納期を自動で確定することが可能になる。

■お客様にとって魅力的で収益性の高いストアフロントを開設することで、新たな顧客接点や、既存のお客様の囲い込みが可能になる。さらにDX-PLATの生産側と協業することで、自動化や効率化が進められ、ストアフロント側もファクトリー側も収益を向上することができると考えられる。

■今申し上げたことなどを見据えていただいて、DX-PLATのグループを皆さんそれぞれの地域でグループングして、自社のデジタルトランスフォーメーションを進めていただきたいと思う。もちろん、生産効率だけのためにDX-PLATを使うということでもできるし、新たな顧客接点の拡大に繋げるツールとしても位置づけられているということである。皆さんには黄色いパンフレット（7ページ右上参照）が全印工連から届いていると思う。是非一度見ていただき、不明な点はどんどん問い合わせいただければと思う。大変な時代だからこそ、新たな時代の潮流をいち早くつかんでいただき、印刷産業がこれからも社会的使命をしっかりと果たして行くように、全印工連としても皆さんと共に邁進して行きたいと考えている。

「印刷物ご発注に関するお願い」

「官公庁用」「一般顧客用」の2種類用意

■本文は修正せずに使用

愛印工組より組合員の皆様方に、「印刷物ご発注に関するお願い」と題した文書をメールで配信しましたが、本誌で改めて取り上げご案内いたします。

全印工連では、「現状においてもなかなか適正な価格転嫁が進まない状況を鑑み、4回目となりますが、全印工連会長名でお客様に現状をご理解いただきたい旨の文書を作成しました」と案内しており、愛印工組ではこの文書に愛知県印刷工業組合理事長名を加えたデータを貼付し、必要に応じて利用していただくようにしております。右枠内の文書は、一般顧客用のものになります。

使用される場合には、それぞれの見本を参照の上、左上に提出先名（お客様名等）を記載いただき、右の鳥原理事長名の下に、貴社名、代表者の職・氏名・代表者印を押し使用してください。

■全印工連からの注意事項

使用にあたりくれぐれも注意していただきたいこととして、下記の点が挙げられています。

- ①本文書は使用を強制するものではありません。
- ②本文書の配布を契機として、組合員間での協調的行動がとられた場合は、独占禁止法上問題となります。

(顧客名) 様

令和5年 月

全日本印刷工業組合連合会
会長 滝澤 光正
〇〇県印刷工業組合理事長 □ □ □ □
△△△印刷株式会社
代表取締役社長 ○○○○



印刷物ご発注に関するお願い

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のお引き立てを賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、印刷業界ではここ数年のコロナ禍の影響を受け印刷需要の落ち込みが進む中、印刷物の主要資材である印刷用紙、インキ、刷版材料等の度重なる値上げとともに、原油、石炭、LNGの輸入価格の上昇と円安の影響によるエネルギー価格の高騰など、これまでに経験したことのない非常に苦しい経営環境下に置かれています。

私ども印刷業界は、お客様の要請に応えるべく従来にも増して生産性の向上やコスト削減などの合理化を懸命に進めてまいりましたが、現状はもはや自社努力だけでは吸収できない限界を超えたものとなっています。

ご高承のとおり、政府では、中小企業等が労務費、原材料費、エネルギーコスト上昇分の適切な転嫁を進め、賃金引上げの環境を整備するために「パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージ」を策定し、毎年3月と9月を「価格交渉促進月間」と定めて、原材料費・エネルギーコスト・労務費などの上昇分を適正に転嫁する環境づくりを強力に推し進めているところです。しかしながら印刷業界の価格転嫁は進まず、コスト増に対する転嫁率は44.8%に留まって、全産業の平均を下回っています(中小企業庁調べ)。今、産業界全体で賃上げの機運が高まっていますが、今後も資材や電気料金の値上げなど、更なるコストの上昇も予想され、このままでは賃上げどころか企業の存続も危ぶまれる事態となります。

お客様各位におかれましても、厳しい経営を強いられている中で誠に心苦しいところではありますが、私ども印刷業界の置かれている状況や政府の転嫁円滑化施策をご賢察いただき、今後の印刷物ご発注に際しましては、改めて格別のご理解とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

A4サイズを縮小、文書ひな型は「一般顧客用」

- ③本文は修正せずにそのままご利用ください。
- ※文書は、「官公庁用」と「一般顧客用」の2種類を用意しています。文書内容に若干の違いがありますので、使用にはご注意ください。

※必要な方は組合事務局まで。
メール:jimu-01@ai-in-ko.or.jp (勝野次長)



お客様の可能性を引き出す印刷現場での働き方改革をご提案します。



専任者不要

「スマートに働く」
スキルレスオペレーション

作業の効率化

「無駄のない」
シンプル印刷プロセス

受注体制の拡充

「アイデアの具現化」
高品質を生むテクノロジー



AccurioPress C4080/C4070

※写真はC4080にオプションを装着したものです。

コニカミナolta ジャパン株式会社
プロフェッショナルプリント事業部 西日本営業統括部 営業4部

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-9-15
三井住友海上しらかわビル11F TEL.052-229-4624

共に印刷の未来を創る
つながるプリントラボ
https://www.konicaminolta.jp/pr/printlab



「多くの情報を発信しているのでぜひ活用を」

ポスターグランプリテーマは「おぼけ」 中部地区協の討議内容を報告



(鳥原理事長)

愛印工組の令和4年度2月期理事会(第5回)が2月21日午後3時より、名古屋・高岳のメディアージュ愛知(愛知県印刷会館)3階会議室とリモートのハイブリッドで開催された。当日は、令和4年度決算見込み、各事業委員会活動状況報告、各支部活動状況報告が行なわれた。出席者はZoom出席を合わせて24名。

冒頭、挨拶に立った鳥原理事長は、2月17日に開催された中部地区印刷協議会への参加に礼を述べたのち、「全印工連ではDX-PLATを含めいろいろな事業を進めているが、こうした情報がなかなか組合員へ届いていないというのが大きな課題になっている。全印工連、愛印工組においても、いろいろ多くの情報を発信しているので、ぜひ活用していただきたい。業界は紙や資材など、多くのものが値上がりしており、我々の経営も決して楽な状況ではない。そうした状況を少しでも打開するための施策を、全印工連ではいろいろ打ち出し取り組みを行なっているので、各支部に伝えていただきたい、活用を促していただきたい」と述べた。

理事会は、鳥原理事長を議長に進められ、河原善高専務理事から令和4年度決算見込みが報告され、続いて、各委員会事業の実施、計画報告が行なわれた。

【三役直轄事業】荒川壯一 副理事長

○第14回ポスターグランプリ/第14回ポスターグランプリのテーマは「おぼけ」。作品展は、令和5年10月31日～11月5日愛知県美術館8階E・F展示室において開催。表彰式は、令和5年11月3日(文化の日)に愛知芸術文化センター12階アートスペースAで開催。

【三役直轄事業】酒井良輔 副理事長

○ゴルフコンペ/第7回愛印工組と関連業者の皆さんとの交流を目的とした親睦ゴルフコンペは、令和5年9月5日豊田市のセントクリークゴルフクラブで開催。

【教育委員会】加藤義章 委員長

技能検定プリプレス職種DTP作業実技試験は、令和5年1月28日、午前・午後(株)Too名古屋支店で実施。採点は令和5年1月31日。受検者は1級が3名、2級が12名であった。

【労務・新人教育委員会】山本芳弘 委員長

実施事業として、令和5年度「印刷会社の新入社員研修会」について概要説明。

【組織・共済委員会】北川毅 委員長

実施報告として、「印刷と関連業界新年互礼会」を令和5年1月11日名古屋東急ホテルで開催した。継続事業として、共済制度加入促進について、本年度「全印工連共済キャンペーン」

の重点工組として当組合が決まった。

【CSR・ブランディング委員会】竹倉幹雄 委員長
クリエイターとのコラボイベントを検討中。

【経営革新委員会】渡辺達也 委員長

企業見学会を令和5年3月15日、飛騨産業(株)で実施予定。※見学会ルポは12頁に掲載。

【各支部活動報告】

次いで行なわれた連絡事項および報告事項では、2月17日に開催された中部地区印刷協議会下期会議の分科会報告(別項)と、全印工連の「印刷業経営動向実態調査」への協力要請が行なわれた。

支部活動の報告者は、東北支部：太田善久 支部長、西支部：加藤朗 支部長、中村支部：渡辺明秀 支部長、中支部：岡戸裕明 支部長、名南支部：堀裕史 支部長、東南支部：萬谷達俊 理事、知多支部：久野彰彦 支部長、西尾張支部：森俊一郎 支部長、東尾張支部：加藤義章 理事、西三河支部：杉谷芳紀 支部長、東三河支部：水野順也 支部長が行なった。

■中部地区印刷協議会分科会報告

【経営革新マーケティング分科会】

渡辺達也 経営革新委員長

オンラインで参加可能な東京工組の各セミナーの周知と活用。経営情報システムの「BRAIN」と「SP-MULTI」の周知。「BRAIN」は印カレに説明動画、また体験できるサイトがある。共創ネットワーク通信のリニューアルの周知と活用の推進。事業継承支援センターについて、山田コンサルティング以外には情報は流出しないので安心して相談ができる。有効活用していただきたい。

【環境労務分科会】

<労務>山本芳弘 労務・新人教育委員長

2023年4月1日から月60 時間を超える時間外労働の割増賃金率が50%に引き上げられる。「令和4年12月以降の雇用調整助成金の特例措置について」助成金は通常制度となるが、業況が厳しい事業主については一定の経過措置が設けられる。

<環境>竹倉幹雄 CSR/ブランディング委員長

平成28年6月に施行された改正労働安全衛生法により、人に対する一定の危険性又は有害性が明らかになっている化学物質について管理義務の啓発が必須。また、「知らなかったでは済まされない労働法と労働基準法改正セミナー」の開催の検討を行なっている。

【教育研修分科会】

加藤義章教育委員長

令和4年度技能検定プリプレス職種（DTP作業）の受検申請者数は20工組102名。全国の受検者が100を下回ると存続に影響するので周知および受検者の確保を要請したい。教育動画サイト「印カレ」は何時でも、何処でも視聴できるのでさらなる活用を推進していただきたい。全印工連ライセンスプログラムは12月から3年間の契約がスタートしたが、月割での途中加入も可能であるので、まだの事業所には周知、加入を奨める。

総合求人サイト「イーアイデム」の組合員向けの特別プランの周知と活用推進を要請。

【取引公正化分科会】

河原善高専務理事

全印工連の「今、官公需で一番苦慮されていること」におけるアンケート調査結果では、1番が知的財産権関係、2番がダンプ、3番が県外事業者への仕事の流出である。特に知的財産権では、製品を製造する過程で作成したデジタルデータの所有権が発注者に帰属するという契約書がまかり通っているという事例が報告されている。全印工連ではコンテンツバイ・ドール契約のパフレットを改訂し、都道府県、全市町村への配布の予定している。また、再生紙の取り扱いでは環境省から再生紙が入手困難な場合は代替品の納入を認めるという文書が出されているので活用されたい。

【理事長会】

鳥原久資理事長

理事長会は、今回の下期会議より全体会議の前に行なうように変更された。全印工連は多くのメニューが有り、それを組合員に周知するために地区協が有るが、地区協から県工組にいきわたってないのが以前から問題になっていた。その情報を理事長から組合員に周知を図る。その一環として地区協から全印工連の委員会に出向しているが、経験が全くない方が出ている場合などのミスマッチがあるので、令和6年度から改善していく。

厚生労働省

化学物質による労働災害防止の新たな規制

ばく露防止のための措置を適切に実施

厚生労働省は、化学物質による労働災害を防止するため、労働安全衛生規則などの一部を改正した。

化学物質による休業4日以上（がんなどの遅発性疾患を除く）の原因となった化学物質の多くは、化学物質関係の特別規則（※）の規制の対象外となっている。今回の改正は、これらの規制の対象外であった有害な化学物質を主な対象として、国によるばく露の上限となる基準の策定、危険性・有害性情報の伝達の整備拡充を前提として、事業者がリスクアセスメントの結果に基づき、ばく露防止のための措置を適切に実施する制度を導入する。

厚生労働省では、「今後、円滑な移行に向けた周知や啓発活動に取り組むことで、化学物質による労働災害の防止を一層推進していく」としている。

（※）特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則、鉛中毒予防規則、四アルキル鉛中毒予防規則

＜新たな化学物質規制項目と施行期日＞

○化学物質管理体制の見直し

【規制項目】①ばく露を最小限にすること（ばく露を濃度基準値以下にすること）、②ばく露低減措置などの意見聴取、記録作成・保存、③皮膚など障害化学物質への直接接触の防止（健康障害を起こす恐れのある物質関係）衛生委員会付議事項の追加、④リスクアセスメント結果などに関わる記録の作成保持。

○実施体制の確立

【規制項目】①職長などに対する安全衛生教育が必要となる業種の拡大。

○情報伝達の強化

【規制項目】①SDSなどの「人体に及ぼす作用」の定期確認及び更新、②事業場内別容器保管などの措置の強化、③注文者の必要な措置を講じなければならない設備の範囲の拡大。

※上記規制項目の施行期日は、令和5年4月。令和6年4月施行項目も含め次号で詳報予定。

※<https://www.mhlw.go.jp>から検索。



「紙の匠」
meikami
メイカミ
〒461-0018名古屋市長区主税町4-83
名古屋紙商事株式会社
TEL:052-931-2221
FAX:052-932-1418



創造を超えるデザイン、
心に残る印刷。.....  **デザイン〜印刷まで
トータルサポート**

お気軽にお問合せ下さい。
..... カラー印刷全般

株式会社 プロスペック
〒453-0855
名古屋市中村区烏森町6丁目108番地
TEL(052)482-3117(代表)
FAX(052)482-3118

✉ info@ps-prospec.co.jp <https://www.ps-prospec.co.jp/>

■企業見学会

レポート
堺 貴弘
経営革新委員会



飛騨産業での記念撮影

老舗家具メーカー飛騨産業を見学して

100年の技術を伝承する「飛騨の匠」

3月15日、コロナ禍で控えておりました経営革新委員会による企業見学会が3年ぶりに開催されました。岐阜県高山市で家具インテリア用品の製造販売を行なって100年以上続く、老舗企業の家具メーカー飛騨産業株式会社を訪問致しました。

名古屋駅新幹線口からバスに乗車し一路高山へ。道中、渡辺達也委員長からの案内と、箕浦靖夫副理事長からは「同じモノづくり産業であり、クリエイティブ産業でもある飛騨産業からは、事業承継、技術承継、従業員教育の面で我々にも多くのヒントをいただけるので参考にしたい」と挨拶がありました。

途中、休憩をはさみ昼食会場に到着。午後からの見学となりますので、早目の昼食をとりながら参加者との懇親を深めるのもリアル開催ならではの企業見学会です。

到着後、会社の概要をお聞かせいただきました。大正創業時から、洋家具に目を付け、手掛けた先見性が令和の時代まで続き、事業の核となっていることや自然資源を材料にするからこそ目の先の資源利用だけでなく、将来に向けた育成にも力を注ぎ、廃棄物を極限まで減らし、資源の有効活用につなげていると話されました。現在は輸入材の比率が高いのですが、ウッドショックによる海外からの入手性も悪く、国内材も見直されてきており、5年以内に40%以上の国内材比率にしたいとのことでした。

また、その対象は自然資源にとどまらず、人材育成(技術承継)にも活かされ、2014年に一流の職人を自前で育てることを目的として、『一般社団法人飛騨職人学舎』を設立し、一民間企業の枠を超えた取り組みをなさっています。期間は2年間で休日は盆、正月だけ。卒業後は飛騨産業の社員になることも、自らの道を選ぶことも可能です。ここにも、自社だけでなく産業としての将来を見据えたリーディングカンパニーとしての想いが込められていると感じます。

2班に分かれての工場見学は、工程順に案内していただき、技能認定取得者や独自の匠制度、技術力へのこだわりが見え

る表示など、広い工場でありながらも、従業員、来客の目に留まるような仕掛けもなされていました。曲げジグや加工ジグ、自前の工具などにもこだわり、工夫が随所に見られ、技術やノウハウの伝承も図られているのでしょうか。圧巻だったのは、加熱圧縮・成型工程です。木材を加熱しながらプレス機で圧縮するのですが、木を割ることなく曲げる様は必見で、「設備は汎用品なので誰でも手に入れられるが、技術を真似することは絶対にできない」と言い切られておられた姿がとても印象的でした。

会社方針である、『伝統の心と技術を大切に受け継ぎ、顧客志向のものづくりを追求する本物家具メーカーを目指す』、の言葉通り、人づくりとものづくりに拘りぬぎ、100年続いた企業を次の200年に導くのでしょうか。全工程をライン化できないものづくりは、我々印刷産業とも通じるところがあります。人が介在するアナログ部分の技術伝承と、未来に向けた人材教育、育成は参考になったのではないのでしょうか。

最後に、バス車中にて鳥原久資理事長から、多くの企業、ベンダーへのお礼の挨拶があり企業見学会を終了しました。

多くの方のご参加により、企業見学会を事故なく終えられたこと、委員会一同感謝申し上げます。



見学中の皆さん

■ 経済センサス活動調査

愛知県内の印刷業

1事業所当たり製造品出荷額等は増加

愛知県統計課が1月18日公表した経済センサス活動調査(愛知県内製造業)によると、2020年の愛知県の印刷業における従業員4人以上の事業所数は595社(前年比△4.6%)、全国9,306社の6.4%。従業者数は12,937人(前年比△11.1%)、全国235,105人の5.5%。製造品出荷額等は2,371億円(前年比△23.4%)、全国4兆5,756億円の5.2%。付加価値額は1,048億円(前年比△12.8%)、全国2兆999億円の5.0%と何れも減少した。

市場規模が縮小する中で、前回調査の2019年には、製造品等出荷額等は、対前年プラス1.7%と7年ぶりに、また従業員数は対前年プラス0.8%と12年ぶりにそれぞれ僅かながら増加に転じて踏みとどまったものの2020年は、コロナ禍の影響で再び減少した。

一方、1事業所あたりの製造品等出荷額等を2011年と比較すると、コロナ禍の影響を受けない2019年は30%増、コロナ禍の2020年でも3.6%増加し、事業所数が減少する中で1事業所あたりの製造品出荷額等は増加している。

また、愛印工組の組合員組織率をみると2011年は、県内事業所数921社に対して組合員は248社、組織率は26.9%。2020年は、県内事業所数595社に対して組合員は195社で、32.8%と5.9ポイント増加している。

※ ※ ※

総務省統計局が行なう経済センサス活動調査(産業別及び品目別統計表・令和2年実績)が公表された。この経済センサス活動調査と従来から行なわれている工業統計調査とは、調査対象が異なる。工業統計調査は個人事業所も調査対象になっているが、経済センサス活動調査は、個人事業所が対象になっていない点が大きな違いになる。

経済センサス活動調査 令和5年1月18日愛知県統計課公表 愛知県内印刷業累計比較結果表(従業者4人以上の事業所)

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
事業所数(社)	921	832	792	761	776	688	651	635	624	595
従業者数(人)	18186	16833	16637	16477	15491	15219	14952	14440	14560	12937
製造品出荷額等(億円)	3552	3744	3638	3522	3367	3329	3229	3041	3094	2371
付加価値額(億円)	1615	1469	1376	1315	1351	1271	1258	1199	1202	1048

お知らせ

■ 令和5年度前期

「鉛・有機溶剤・特定化学物質取扱者健康診断(特殊検診)」案内

労働安全衛生法において、鉛・有機溶剤・特定化学物質の取扱者に対して、「事業主は原則として、雇入れ時、当該業務への配置替えの際及びその後6か月以内ごとに1回、定期的にそれぞれ特別の健康診断(特殊検診)を実施しなければならない」と義務付けられています。

愛印工組では、組合員企業所属の該当者の皆さんに「特殊検診」を継続して受診していただくために、半年に一度案内をしております。化学物質(指定有機溶剤名は送付の書類で確認ください)を使用されている事業所は、該当する従業員の受診を必ず実施されるようお手配ください。なお、検査項目、検査内容、検査費用などの詳細は、下記の検査機関へ問い合わせてください。

□ 組合がご案内する健診機関

(一社)オリエンタル労働衛生協会：名古屋千種区今池1-8-4 TEL052-732-2200 / FAX052-733-7100

※ 貴社特定の健診機関がない場合は上記機関をご利用ください。なお、実施日時、場所については健診機関と貴社とで調整し決定してください。

今回の調査では、製造業全体の事業所数は176,858事業所(前年比△2.8%)、従業者数は7,465,556人(前年比△3.3%)、出荷額は302兆32億円(△6.4%)といずれも減少した。その原因について、「令和2年1月に発生した新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言が発令されるなど、経済活動が大幅に制限されたことが大きく影響した結果」と分析している。

PUR製本始めました 是非ご利用ください

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代)
FAX0564-62-8463

大日印刷

検索

盛功社の創業は1889年。2018年に130周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。



●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料

株式会社 **盛功社**

〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
http://seikosha-net.jp/

今月の本棚

経済調査会 積算資料(2023年版) 印刷費積算の基礎資料

経済調査会では、「積算資料 印刷料金 2023年版」を編集・発行した。同書は、印刷物受発注における見積もり・積算資料、チェック資料として活用されている価格情報誌。各種印刷物（一般印刷、名刺・はがき・封筒印刷、フォーム印刷など）の見積もり・積算のために、工程に沿った料金の算出方法や積算事例を掲載している。また、仕様書作成に必要な情報や書式サンプルなど、印刷発注実務に役立つ情報も充実しており、印刷業務に携わる全ての人の必須の書といえる。

特集記事には、①デジタル印刷による出版イノベーション、②クリエイティブワークの見積もり事例調査結果、③Web制作技術者のスキルに関する調査結果などを掲載。

主要内容は、クリエイティブワーク、一般印刷（商業印刷・書籍印刷・事務用印刷）、Web制作、名刺・はがき・封筒印刷（日常



業務で必要となる消耗品)、フォーム印刷（コンピュータアウトプットのための連続伝票）、ドキュメントサービス（複写・情報加工）、地図調整（地図）。

●基礎知識／一般印刷の制作工程、印刷物受発注の流れ、印刷物仕様の決定、印刷費積算の概要。●工程別料金と算出法／平版オフセット印刷、フルフィルメント、デジタル印刷。●地区別料金表。●積算事例。●印刷物事例別料金。

キープボトル」と、サントリーの「天然水ラベルレス」が選出された。また、経済産業省製造産業局局長賞、同商務情報政策局局長賞、各後援団体賞、主催者賞、部門賞の計40作品の入賞を決定した。

近年、パッケージデザインには、使いやすさなど従来の機能に加え、安心・安全・環境への配慮など多様な要求があり、社会的責任も増大している。パッケージデザインはこうした状況を乗り越え、人々の豊かな暮らしを実現する新しい開発・提案が求められている。日産連は、今後もJPCを通じて市販パッケージを総合的・多角的に評価し顕彰することで、パッケージ開発に寄与し

社会に貢献していくとしている。

【経済産業大臣賞の作品概要】

■1部門の受賞作品「ピュアセレクトマヨネーズ新鮮キープボトル」味の素

審査基準＝保護、機能、構造、デザインなど、市場性に最も優れているもの。

講評＝しょうゆで定番となった「開封後も中身が酸化しにくいボトル」がマヨネーズに初めて採用された。液体ではなく粘体での展開は技術的にかなりの困難が伴ったはず。そこが柔軟で最後まで絞り出しやすいのも新しい。こだわり抜いた中身の新鮮なままのおいしさを「最後まで味わってほしい」という企業姿勢を評価した。

■2部門の受賞作品「天然水ラベルレス」サントリー

審査基準＝安全性、リサイクル性、環境対応などが配慮され、最も優れているもの。

講評＝ラベルによるグラフィックメッセージをボトルから外した制約の中で、ブランドの世界観や審美性をボトルの形状自体でしっかりと表現。上部は冷たい氷雪の形。そこから徐々に繋がる下部の造形は、雪解け水が育まれ染み出すような水の流れを思わせる柔らかなラインで構成されている。そうしたなかにブランドアイコンをレリーフしている。

TOPICS NEWS

□日産連:第62回JPC 入賞40作品が決定

経済産業大臣賞に味の素とサントリー

日本印刷産業連合会が主催する「第62回2023年ジャパンパッケージングコンペティション（JPC）」の審査会が、2月22日東京・新富の日本印刷会館において開催され、157点の応募作品のなかから入賞作品40点を決定した。今回、経済産業大臣賞には味の素の「ピュアセレクトマヨネーズ新鮮

編集だより

■今年は桜の開花が早く、近くにある五条川の桜もまもなく満開の状況で、今度の休日はさぞかし賑わいを見せることでしょう。

■第14回目を迎えたポスターグランプリの作品募集要項が決まりました。今回は何と「おかげ」がテーマ。どのような作品が寄せられるのか、今から楽しみで、力作を期待したいものです。

サントリー「天然水ラベルレス」



味の素ピュアセレクトマヨネーズ新鮮キープボトル

あいちの印刷

No.617

令和5年4月10日発行

発行人 鳥原久資
編集 組織・共済委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号
メディアージュ愛知1階
TEL (052) 962-5771
FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <https://www.ai-in-ko.or.jp/>
◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通し、
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

- グラフィックデザイン Graphic design
- ウェブデザイン Web design
- セールスプロモーションデザイン Sales promotion design
- エディトリアルデザイン Editorial design
- アドバタイジングデザイン Advertising design
- オンデマンドプリンティング On-demand printing

adWISE

株式会社 アドワイズ

〒451-0031 名古屋市中区西城三丁目21-12 サンシャイン浄心南601

TEL 052-528-1070 FAX 052-528-1071 E-mail: ad-wise@ad-wise.biz http://www.ad-wise.biz/



多言語に対応した
デジタルブックを簡単に作成
手軽に配信・快適に閲覧



モリサワは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

多言語ユニバーサル情報配信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス

あらゆる紙媒体をデジタル化し、
スマートフォンやタブレット端末に
手軽に配信するサービスです。

詳しくは

www.morisawa.co.jp

●記載されている会社名・商品はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

Axuas

印刷用紙は、紙営業本部 TEL (052)220-5511
紙のプロフェッショナルとして
「最適」をご提案いたします。



パッケージは、包材営業部 TEL (052)220-5507
皆様の「包む」を
サポートいたします。



LED 照明は、開発事業部 TEL (052)220-5518
地球に優しい
「LED照明」を中心に省エネ化の
お手伝いをいたします。



株式会社 アクアス

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号 <http://www.axuas.jp>

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL : www.heart-group.co.jp



10530027(04) FSC® C015685

EMIS 550632

PM 73877

封筒フィーダ搭載で連続印刷可能！ imagePRESS 封筒搬送ユニット

- 封筒を補充する際のロスタイムがなくプリンターの性能を最大限に引き出します！
- 軽オフの更新時にご検討ください。



KING キングコーポレーション

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目7番23号
TEL:052-961-7661 FAX:052-961-7662

キング封筒



VALUE & INNOVATION きらり

KOBUNDO

自動給紙カティングマシン **NEW**
KBD AUTO CTM
オートシーティエム カティングマシン

紙器加工の試作に、
少量多品種生産に、
PODのカティングに、
マルチに活躍する新しい
カティングマシン登場!!



デジタル制御高精度シートカッター
KBD Value Sheeter
1400II

KBD バリュースーター 1400IIは、
最新の先端技術を採用し、
高速で安定した断裁を可能にする
シートカッターです。

新機能!
マーカーセンサー標準搭載で
印刷済ロール紙のカットが可能に!



これならできる 災害時のBCP対策 **NEW**
KBD スカイガレ〜ジII

低コストかつ信頼のクラウドサーバ
[KBD スカイガレ〜ジII]が登場!
災害やウィルス禍など、移動制限で
出社できない、機械が壊れてデータ
消失の危険性がある…
今後に備えて、今はそのような体制を
変える時です。



URLとリンク先サイトを一括確認! **NEW**
KBD QRエビデンサー

KBD QRエビデンサーは、PDFに配置されたQRコードの情報を
読み取り、URLとリンク先のサイトのスクリーンショットを一覧にし
た検査ファイル(PDF)を書き出すソフトウェアです。紙面にレイ
アウトされたQRコードの内容をチェックしたい時に役立ちます。

- 主なレポート機能
- ・QRコードの読取り可否
- ・リンク先のURLとスクリーンショット

フィニッシングソリューション
KBD MOLLシステム
FOLDER/GLUER/INSERTING/TAPING
ポケットホルダー、封筒、ルームキーカードホルダー、
小包パッケージ、CDスリーブなど様々な形状の
パッケージの加工が可能に!



オートフィードダイカッター
KBD DigiNukky500
デジタル印刷のフィニッシングに
最適な新設計のダイカッター
登場!



株式会社 光文堂

本店/〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社/東京 支店/東北・静岡・大阪・金沢・北九州・福岡 営業所/北海道・青森
山形・千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄